



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# イーグル・パーツ・マニュファクチャリング

5

Eagle Parts Manufacturing Inc. は、アメリカ・オハイオ州で自動車用部品を生産している日系企業である。主に米国ホンダ、米国トヨタに製品を供給している。

同社の米国進出の背景には、1980年代以降本格化した大手自動車メーカーの海外生産の加速がある。海外生産を推し進める顧客の要請に従い、顧客を迫る形で中堅企業が海外に進出するのである。その結果として、日本では全く経験しないような困難な経営問題に現地で直面することが増えた。Eagle Parts Manufacturing Inc. (以下、イーグル) もそうした在米日系の自動車部品会社の一つである。イーグルの現地トップは、いくつかの問題を抱えており、それらをいかに克服するか、考えをめぐらしていた。

10

15

同社は1986年に創設され、最初は一種類の部品を米国のホンダ工場に供給する小規模な部品メーカーであった。だが高い品質を維持しつつ価格競争にも打ち勝って、ホンダへの納入部品点数と数量を伸ばし、さらにはホンダとの実績をベースに他の自動車メーカーにも積極的にアプローチした結果、米国トヨタとの取引開始にも成功した。いまでは米国ホンダ6割、米国トヨタ3割、その他1割という比率になっている。

20

イーグルの親会社、鷲尾技研工業株式会社は長年日本でホンダと取引しているが、トヨタとの取引はなく、アメリカでの取引開始をチャンスとして日本での取引にも意欲的に取り組んでいる。まだ日本での取引開始には至っていないがチャンスは大いにある。

25

イーグルの社員数は760人で、そこには9人の日本人駐在員も含まれている。社長は日本人

本ケースは、慶應義塾大学大学院経営管理研究科特別研究教授網野俊賢がクラス討議用の教材として作成した。経営の巧拙を論じるものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール(〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp)。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法(電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない)による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 網野俊賢 (2010年1月作成)